



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎
問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151(代表)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	28,512	—	885	—	899	—	791	—
2024年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 621百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	95.63	—
2024年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 33,866	百万円 12,819	% 37.9
2024年3月期	35,411	12,694	35.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 12,819百万円 2024年3月期 12,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 90.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,300	—	1,530	—	1,570	—	1,050	—	126.87
通期	118,700	—	3,420	—	3,510	—	2,430	—	293.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	9,255,000株	2024年3月期	9,255,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	979,185株	2024年3月期	979,000株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	8,275,871株	2024年3月期1Q	9,047,740株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況について、連結経営指標に係る対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、大幅な賃金引き上げ等により消費支出が伸び、経済成長を支える要因となりました。一方、新型コロナウイルス感染症からの回復は徐々に緩やかなものとなりました。円安基調による輸入コスト上昇を主要因とするインフレーションは当期間においても継続し、実質所得上昇の阻害要因のひとつとなっています。

当社の主要取引先であります外食産業におきましては回復基調が継続し、価格改定による客単価上昇やインバウンドの増加もあり市場は拡大しました。しかしながら、食材及びエネルギー価格の上昇や人手不足に起因する人件費上昇等のコストアップ、更に、慢性化する人手不足による店舗の営業時間の短縮等は、外食産業における深刻な課題として顕在化しております。

このような状況下、当社は第5次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を提供し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

ヘルスケアフード業態につきましては、2024年5月から6月にかけて、病院や高齢者施設を対象にした「やさしいメニュー提案会」を東京、名古屋、大阪、高松、鹿児島での5会場で開催し、計画を大幅に上回る1,000名超のユーザーに会場いただきました。既存ユーザーに加え約100社の新規ユーザー（今後、取引を開始予定）にも会場いただけました。ヘルスケアフード業態向けにはプライベートブランド商品（以下、PB商品）の品揃え強化を図り、提案会ではこれら新製品の提案に加え、同業態における様々な課題の解決に向けたプレゼンテーションを実施し、来場者から高い評価をいただくことができました。

更に、ヘルスケアフード業態への提案レベルを向上するために、全社の営業をフォローする専任チームの増員を図り、ユーザーに対しこれまで以上に積極的にプレゼンテーションを行いました。これらの取組みが奏功し、当四半期累計期間のヘルスケアフード業態への売上は52億15百万円（当社単体は売上50億21百万円、前年同期比108%）となりました。

中食につきましては、市場拡大が著しいベーカリー業態へ重点的に取組み、ベーカリー専用商材の取扱いを増やし、同業態への当四半期累計期間の売上は1億74百万円（当社単体は売上1億71百万円、前年同期比124%）となりました。

旺盛なインバウンド需要に応え急成長する宿泊施設との取引も強化いたしました。続々と新設されるホテルには開業前から積極的にアプローチをした結果、取引軒数は約1,400軒、当四半期累計期間の売上は17億99百万円（当社単体は売上17億96百万円、前年同期比117%）となりました。

2024年4月より営業組織を刷新し、よりきめ細やかなエリアマーケティングを実践できるよう、営業体制を4地区制から6地区制に再編しました。これにより、エリア内物流網の再構築や未開拓エリアへの進出計画を加速しております。

PB商品につきましては、2024年4月に「サンホーム 皮むきなすミニカット」を新たに発売し、商品ラインナップの拡充を図りました。皮をむいて一口大にカットした「サンホーム 皮むきなすミニカット」はボイル調理済みで柔らかく食べやすいため「やさしいメニュー」ロゴ入り商品として販売しました。特にヘルスケアフード業態からの需要が高く、多くの施設での採用に繋がりました。これらの商品政策及び既存商品の取扱促進に努めた結果、PB商品全体の売上は前年同期比108%と伸ばいたしました。

物流施策といたしましては、効率化と品質向上のため、商品の仕分け業務に活用している機器（ボイスシステム）の使用率向上を目指しています。使用率は、前年比約118%向上し、導入により30%の時間短縮が図れました。物流2024年問題については、受注締時間前倒しの取組みを行い、庫内業務の効率化と配送の見直しを図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高285億12百万円、営業利益8億85百万円、経常利益8億99百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益7億91百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期累計会計期間末の総資産は338億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億45百万円の減少となりました。

主な要因は、現金及び預金が7億13百万円、受取手形及び売掛金が2億20百万円、未収入金が6億69百万円減少したことによります。

（負債）

負債は210億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億70百万円の減少となりました。

主な要因は、買掛金が2億21百万円、未払金が2億18百万円、賞与引当金が4億25百万円、未払法人税等が6億42百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は128億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億24百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が2億94百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1億68百万円減少したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990	3,277
受取手形及び売掛金	15,045	14,825
商品	3,285	3,419
未収入金	1,657	988
その他	49	135
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	24,021	22,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,519	10,590
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,203	△6,297
建物及び構築物（純額）	4,315	4,292
機械装置及び運搬具	454	455
減価償却累計額及び減損損失累計額	△360	△361
機械装置及び運搬具（純額）	94	93
工具、器具及び備品	545	566
減価償却累計額及び減損損失累計額	△425	△438
工具、器具及び備品（純額）	120	127
土地	2,280	2,280
建設仮勘定	19	182
有形固定資産合計	6,830	6,976
無形固定資産		
のれん	58	55
ソフトウェア	122	111
その他	27	27
無形固定資産合計	208	194
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057	769
差入保証金	2,275	2,382
繰延税金資産	858	745
その他	209	207
貸倒引当金	△49	△50
投資その他の資産合計	4,351	4,055
固定資産合計	11,390	11,226
資産合計	35,411	33,866

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,485	15,263
1年内返済予定の長期借入金	209	80
リース債務	57	35
未払金	599	381
未払費用	1,770	1,611
未払法人税等	846	204
賞与引当金	902	477
資産除去債務	4	4
その他	125	234
流動負債合計	20,000	18,292
固定負債		
長期借入金	115	102
リース債務	43	49
役員退職慰労引当金	200	218
資産除去債務	756	757
退職給付に係る負債	1,465	1,490
その他	134	134
固定負債合計	2,716	2,753
負債合計	22,716	21,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,233	1,233
利益剰余金	10,938	11,233
自己株式	△1,515	△1,515
株主資本合計	11,962	12,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	308
退職給付に係る調整累計額	254	253
その他の包括利益累計額合計	732	562
純資産合計	12,694	12,819
負債純資産合計	35,411	33,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	28,512
売上原価	23,153
売上総利益	5,359
販売費及び一般管理費	4,474
営業利益	885
営業外収益	
受取配当金	6
受取賃貸料	4
貸倒引当金戻入額	0
雑収入	3
営業外収益合計	15
営業外費用	
支払利息	0
賃貸費用	0
雑損失	0
営業外費用合計	0
経常利益	899
特別利益	
投資有価証券売却益	249
特別利益合計	249
税金等調整前四半期純利益	1,149
法人税、住民税及び事業税	173
法人税等調整額	185
法人税等合計	358
四半期純利益	791
親会社株主に帰属する四半期純利益	791

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	791
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△168
退職給付に係る調整額	△1
その他の包括利益合計	△169
四半期包括利益	621
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	621
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	131百万円
のれんの償却額	2